

事務連絡
令和6年10月10日

公益社団法人建設荷役車両安全技術協会
兵庫県支部 支部長 殿

兵庫労働局労働基準部健康課長

令和6年度「治療と仕事の両立支援シンポジウム」の周知について（ご依頼）

厚生労働行政の運営につきましては、平素より格別の御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、厚生労働省では、治療と仕事の両立支援の促進を図るため、下記のとおり、治療と仕事の両立支援シンポジウムを開催することといたしました。

つきましては、同封のリーフレットもご活用の上、貴団体におかれましては、関係者に広く周知いただきますよう何卒ご協力をお願い申し上げます。

記

1 日時

令和6年11月19日（火） 13:30～16:00

2 会場

東京商工会議所5階 カンファレンスルーム
（東京都千代田区丸の内3-2-2（丸の内二重橋ビル））

※会場参加のほか、オンライン配信でもご参加いただけます。

3 概要

今年度のシンポジウムは『すべての働く方、会社が、「自分事・自分たち事」として取り組む両立支援』をメインテーマとして、治療と仕事の両立支援の進め方や実践方法について、労働者（患者）、企業、医療機関、両立支援コーディネーターの各視点から取組や事例を紹介いたします。

▶会場参加のお申し込みやお問い合わせ、オンライン配信の視聴方法等

詳細については、治療と仕事の両立支援ポータルサイトをご覧ください。



4 リーフレット同封部数 20部

令和
6年度

厚生労働省委託事業 治療と職業生活の両立支援広報事業

治療と仕事の両立支援 シンポジウム・セミナー

参加
無料

テーマ

すべての働く方、会社が、 「自分事・自分たち事」として取り組む両立支援

令和6年11月19日 火 13:30・16:00

定員 250名
(定員になり次第締切)

場所 東京商工会議所 5階 カンファレンスルーム
オンライン配信あり / 終了後はアーカイブ配信予定

申込方法 参加を希望される方は、申込フォームでお申し込みください
申込フォーム URL : <https://forms.office.com/r/bc570UrbPv>



シンポジウム

「治療と仕事の両立支援とは? 動き始めるのは会社自身、そして、労働者自身。」

シンポジウムでは、様式(「勤務情報提供書」や「主治医意見書」等)を介した治療と仕事の両立支援の進め方や実践方法について、労働者(患者)、企業、医療機関、両立支援コーディネーターの各視点からお伝えします。
治療と仕事の両立支援に関わられている方だけでなく、まだ取り組まれていない企業や団体、自分の会社では取り組みが困難と悩まれている方も是非ご参加ください。

詳細はこちら



基調講演

産業医科大学 医学部 両立支援科学 准教授 永田 昌子 氏

事例発表・パネルディスカッション

事前に治療と仕事の両立支援に関する質問を受け付けます。

基調講演・ファシリテーター



産業医科大学 医学部
両立支援科学
准教授
永田 昌子 氏



医療法人社団輝生会
在宅総合ケアセンター成城
成城リハビリテーション病院
ソーシャルワーカー
日下 真由美 氏



上野医院
医師
上野 学 氏

パネリスト

パネリスト

パネリスト



株式会社ニッシン
代表取締役
竹内 新 氏



アポワール
インターナショナル株式会社
代表取締役
中村 真由美 氏



独立行政法人労働者健康安全機構
(JOHAS) 鳥根産業保健総合支援センター
産業保健専門職
仲佐 菜生子 氏

プログラム

13:30 ▶ 13:35 (5分)	挨拶	厚生労働省労働基準局 安全衛生部長
13:35 ▶ 14:05 (30分)	基調講演	永田 昌子 氏
14:05 ▶ 15:20 (75分)	事例発表	永田 昌子 氏 日下 真由美 氏 上野 学 氏
15:20 ▶ 16:00 (40分)	パネルディスカッション	竹内 新 氏 中村 真由美 氏 仲佐 菜生子 氏

※プログラムと時間は予定であり、変更になる場合があります。

オンラインセミナー開催予定

令和6年12月12日(木) 予定	オンラインセミナー1回目	治療と仕事の両立支援とは? 様々な業種の中小企業の取組から学ぶ
令和7年1月中旬予定	オンラインセミナー2回目	治療と仕事の両立支援とは? 労働者の経験・エピソードから学ぶ両立支援の進め方



参加方法など詳細はこちら

ポータルサイト「治療と仕事の両立支援ナビ」

お問い合わせ

「治療と職業生活の両立支援広報事業」事務局
E-mail: info@chiryoutoshigoto.mhlw.go.jp



治療 両立ナビ | 検索

治療と仕事の両立とは



病気を抱えながらも、働く意欲や能力のある労働者が、仕事を理由として治療機会を逃すことなく、また、治療の必要性を理由として職業生活の継続を妨げられることなく、適切な治療を受けながら、生き生きと就労を続けられることです。

治療と仕事の両立支援に取り組むことの意義

◆ 労働者にとっての意義



疾病にかかったとしても、本人が希望する場合は、疾病を増悪させることがないように、適切な治療を受けながら、仕事を続けられる可能性が高まります。

◆ 事業者にとっての意義



人材定着
生産性向上
CSR

労働者の健康確保とともに、大切な人材を失わずにすみ、労働者のモチベーション向上により人材の定着や生産性向上につながります。「健康経営」や社会的責任(CSR)の取組そのものであり、多様な人材の活用による事業の活性化が期待されます。

◆ 医療関係者にとっての意義



仕事を理由とする治療の中断や、仕事の過度な負荷による疾病の増悪を防ぐことで、疾病の治療を効果的に進めることが可能となります。

◆ 社会にとっての意義



疾病を抱える労働者の方々も、それぞれの状況に応じた就業の機会を得ることが可能となり、全ての人々が生きがい、働きがいを持って各々活躍できる社会の実現に寄与することが期待されます。

詳しくはこちら



■ 事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドライン

治療が必要な疾病を抱える労働者が、業務によって疾病を増悪させることなく、適切な治療を受けながら就労を続けられるよう、事業場における両立支援のための取組事項をまとめたものです。

治療と仕事の両立支援ナビからダウンロードできます



■ 治療と仕事の両立支援ナビ

好事例や活用可能な制度・助成等、治療と仕事の両立支援に関する総合的な情報を発信しています。

